

大河内地区活性化計画 改善計画書

平24年 9月28日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
静岡県	静岡県・静岡市	大河内地区	H21～23年度	H21年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林水産物直売・ 食材提供供給施設	農林水産物直売・飲食提供施設整備 1棟 (185.45㎡)		真富士の里運営委員会	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B / A	備考
地域農産物の販売額の増加	7.10%	△0.75%	△10.56%	

2 目標が達成されなかった要因

H21は、利用者数が、前年度より6,500人余増加したが、厨房の改築中は、提供できる食事メニューが限られ、食堂部門の売上げが伸びなかったため、当初見込んだ販売額に達しなかった。

また、平成23年度は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光バスツアーの入り込み客の減少により、食堂以外の商品の販売額も伸びなくなった。

客単価も下がっており、厨房や食堂スペースの整備により食堂部門が充実し客足が伸びたため交流人口は全体的に増加の傾向であるが、販売額の向上に結びついていない。

これらのことは、販売している農産物や食事、体験イベントなどのメニューがマンネリ化し、購買意欲をかきたてる工夫が足りなかったと考えられ、直売所同士の競争が激化してきたことに対する取組が不足していた。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成26年度
事業の推進体制	事業実施主体(真富士の里運営委員会)を中心とし、県及び市が連携して、専門家の派遣等により、販売戦略を構築し、地域ぐるみで販売促進対策を実施していく。
具体的取組方策	<p>○客単価の引き上げ</p> <p>H21以降、利用者数が増加しているにもかかわらず販売額が伸び悩んでいるのは、客単価の減少要因と考えられるため、魅力ある商品作りを行い、880円程度の客単価を1,000円に引き上げることを目指し、客単価を上げる取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の買い物をした客へのサービス券を発行し、リピーターを増やす工夫をする。(昨年からはじめ、一定の成果を実感している) ・ パッケージデザインを見直し、客の目をひく商品づくりや、単品販売や詰合せ販売等、多様な客のニーズに対応した販売方法を行う。 ・ 地域の人に喜ばれる商品づくりとして惣菜を充実させる。(コロッケ、ナスの味噌かけ等) <p>○提供サービスの見直し</p> <p>体験イベントや体験メニューを開発し、リピーターを確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蕎麦打ち体験は、最小催行人数を現状5人から2人に変更する。 ・ こんにやく作り体験、山葵漬体験など、親子を対象とした食体験を充実させる。 ・ 四季折々のイベントを実施する。 ・ 食事時間帯に限られている食堂施設を活用して、お茶入れ体験セットメニュー等を開発する。 <p>○誘客への取り組み</p> <p>販売額を伸ばすための新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部のイベントへの参加や出張販売に取り組む。 ・ 花や木々の植樹等により、施設周辺部の景観を見直す。 ・ 道路沿い(駐車場内)看板を見直し、マイカーへの案内を充実させる。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

目標の再設定や意見交換の場に、運営に関する者全員が参加できるような仕組みにしていく必要がある。

(静岡市農業委員会 農業委員 仲野益夫)